

入選

心配を親切に

静岡県 長岡北小学校 六年

吉橋 明希

(大丈夫かなあ。)

夏休み前のある日のできごとです。夏休みに入るため、重い荷物を持って帰る3年生の男の子が、たまたま私の前を歩いていました。私はふと、こんなことを思いました。みなさんも、テレビや本などで、大きな荷物を持ったおばあさんを助ける、などのお話を見たり聞いたりしたことがあるかと思います。

私はそんなお話をしたり、聞いたりすると、親切だなと心が温まります。また、私も低学年のころ、重い荷物を持って帰ったことがあり、上級生のお姉さんが荷物を持ってくれて、うれしかった思い出もありました。

この男の子も、あのときの私のように今、困っているのだろうと思い、勇気を出して、

「荷物、持とうか？」

と声をかけると、うれしそうにうなずいてくれたので、私まで安心しました。私は男の子を見送った後、良いことをしたな、と体が軽く満足して家に帰りました。

その次の日。ちょうど終業式の日帰りです。私の学校では、地区ごと一列で並んで帰る集団下校をしています。私が先頭で歩いていると、後ろの1年生の男の子とのきょりが開いてしまっています。

(おっと、ちょっと速すぎたかな。)

と足を止めると、「はあ、はあ」という今にも本当に息が切れそうな声が近づいて来ます。それに、重そうな荷物を両手いっぱいにかけています。

(悪いことしたな。これは見のがせない。)

と、昨日と同じように、

「荷物、持とうか？」

と、手を伸ばすと、その男の子は首をふって断りました。私はその後、歩くスピードを落として、後ろをチラチラとふり返りながら歩き、

(あんなに苦しそうに見えたのに……。本当に良かったのかな?)

と、いろいろと考えました。

(もしかして、他にも友達がいたからはずかしかったのかな？私の声のかけ方が、相手に気を使わせちゃったのかな?)

と、少しこうかいしました。

私は、この2つのできごとで、自分が親切だと思ったことも相手の受けとり方や状況、立場などのちがいで、人にたよりにくくなってしまうこともあることを知りました。

親切の受けとり方は人それぞれですが、親切にしようとしたことが相手に断られたとしても、相手は、ありがとうという気持ちを伝えてくれます。なので、親切は人と人を結ぶ大切なことです。

断られることがあっても、私は、困っている人に自分から声をかけたいと思います。